

令和5年度 年間指導計画

B植物16

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	農業	科目	生物活用	単位数	2	学年・学科	3学年・B科(選択)
教科書	実況出版		副教材	自主教材			

学習目標	<p>○主に草花の園芸作物の活用に必要な知識と技術を習得させ、また、資格取得に生かす。</p> <p>○園芸作物や農業によって生活の質を向上させ、健康の改善を図る能力と態度を育てる。</p>
学習方法	<p>○生物活用のうち主に花装飾に使用する園芸作物の特性や使用方法を学習します。</p> <p>○花壇やアレンジメントのデザインを行い、実践に生かし、ハンギングバスケット等の花装飾について学習します。</p> <p>○作物・園芸植物や社会動物によって生活の質を図り、現代人の幸福につなげることについて学習します。</p>

学 習 評 価	評価の観点	評価の観点の趣旨	学期	重み付け	割合	
					考査	考査以外
学 習 評 価	a 関心・意欲・態度	生物の活用に関する諸課題について興味・関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に学習に取り組もうとする態度を身につけている。	前期中間	25%	15	10
			前期末	25%	15	10
			後期中間	25%	15	10
			後期末	25%	15	10
	b 思考・判断・表現	草花をはじめとする園芸作物等に関する項目の諸課題を解決を図り、生産利用について適切に判断し、表現する能力を身につけている。	前期中間	25%	15	10
			前期末	25%	15	10
			後期中間	25%	15	10
			後期末	25%	15	10
	c 技能	草花をはじめとする園芸作物等に関する基礎的・基本的な技術に関わり、その技術を適切に活用している。	前期中間	25%	15	10
			前期末	25%	15	10
			後期中間	25%	15	10
			後期末	25%	15	10
d 知識・理解	園芸作物や社会動物に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、その意義や役割を理解している。	前期中間	25%	15	10	
		前期末	25%	15	10	
		後期中間	25%	15	10	
		後期末	25%	15	10	

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点				単元の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間	○春苗物の育苗、管理 ○花壇のデザインと制作 ○フラワーアレンジメントに関する基礎 ○園芸作物の栽培と利用	・花壇デザインや苗物の特性や管理の基本について学習します。 ・栽培した草花を利用し、花壇作品制作に向けた知識や技術を習得します。 ・フラワーアレンジメントについての基礎を学習します。 ・園芸作物の栽培について理解します。	○	○	○	○	a:生物の活用について興味関心を持ち、意欲的に管理できる。 b:花等についての確に判断することができる。 c:栽培やアレンジメントについて、技術を習得できる。 d:花壇デザインやフラワーアレンジメント、園芸作物の基礎についての知識を身につけている。	・出席状況 ・行動観察 ・授業ノート ・授業プリント ・定期考査
			○	○	○	○		
			○	○	○	○		
			○	○	○	○		
前期末	○フラワーアレンジメントの実際と理論 ○花装飾の基礎 ○園芸作物の栽培と利用	・デザインを学習し、花壇を制作します。 ・フラワーアレンジメント・装飾について、学科の学習と実践学習を行います。 ・園芸作物の管理について理解します。	○	○	○	○	a:生物の活用について意欲的に取り組むことができる。 b:花装飾やフラワーアレンジ等について創造的な表現ができる。 c:花や園芸作物の利用についての基本的技術を身につけることができる。 d:花装飾や園芸作物等についての基礎についての知識を身につけて	・出席状況 ・行動観察 ・授業ノート ・授業プリント ・定期考査
			○	○	○	○		
			○	○	○	○		
後期中間	○各種花装飾の基本と実際 ○園芸療法 ○色とデザイン ○園芸作物の栽培と利用	・ハンギング・秋苗利用等の花装飾を学習し、実践します。 ・園芸療法について特徴や生活利用について学びます。 ・色とデザインの基本と理論について学習します。 ・園芸作物の管理と利用について理解します。	○	○	○	○	a:生物の活用に関して意欲的に取り組める。 b:花装飾や色デザインについて創造的な表現ができる。 c:花利用や色デザイン、園芸作物栽培技術を身につけることができる。 d:花装飾や色デザインの特色や役割について学習し理解している。	・出席状況 ・行動観察 ・授業ノート ・授業プリント ・定期考査
			○	○	○	○		
			○	○	○	○		
			○	○	○	○		

後 期 末	○リースについて	・リース制作を行い、装飾の学習を行います。	○	○	○	○	a:生物の活用について興味関心を持ち、意欲的に学習している。 b:花装飾や園芸療法・社会動物について表現できる。 c:花装飾や園芸療法・社会動物について体験的に実施できる。 d:花装飾や園芸療法・社会動物についての知識を身につけている。	・出席状況 ・行動観察 ・ノート提出 ・プリント提出 ・定期考査
	○園芸作物利用のまとめ	・生物活用における、生活での利用等を学習します。	○	○	○	○		
	○社会動物	・社会動物の種類や効果にふれ、理解を図ります。	○	○	○	○		